

メディアタンク (FMMET-101) クイックガイド

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本紙をご覧になり、メディアタンクを使用する準備を行ってください。
また、本紙裏面では、メディアタンクの代表的な機能を紹介していますので、ご覧ください。



メディアタンクを設置・接続する

梱包物を確認する

次の品物が添付されていることを確認してください。

<input type="checkbox"/> メディアタンク本体	<input type="checkbox"/> フット固定用ネジ (×2)	<input type="checkbox"/> LAN ケーブル (ストレートタイプ:2m)
<input type="checkbox"/> フット	<input type="checkbox"/> コア	<input type="checkbox"/> かんたんセットアップ CD
	<input type="checkbox"/> AC アダプタと電源ケーブル	<input type="checkbox"/> 保証書 (梱包箱に添付されています)
		<input type="checkbox"/> 取扱説明書
		<input checked="" type="checkbox"/> クイックガイド (本紙)

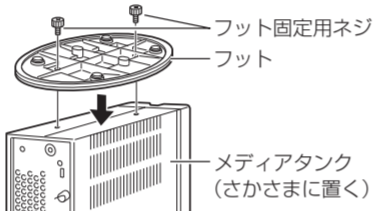
万一、足りないものがあつた場合は、ご購入元または富士通パソコン診断センターまでご連絡ください。富士通パソコン診断センターの連絡先は、「取扱説明書」をご覧ください。

フットを取り付ける

設置する前に、フット(設置台)を取り付けます。メディアタンクは縦置き専用ですので、フットは必ず取り付けてください。フットを取り付けないと、底面の通風孔がふさがれたり、転倒したりして故障の原因となることがあります。

- 1 本体を上下さかさまに置きます。
本体に傷が付かないように、下に布などを敷いてください。

- 2 本体底面にフットを取り付けます。
添付のネジで手前と奥の計 2 ヶ所に取り付けます。



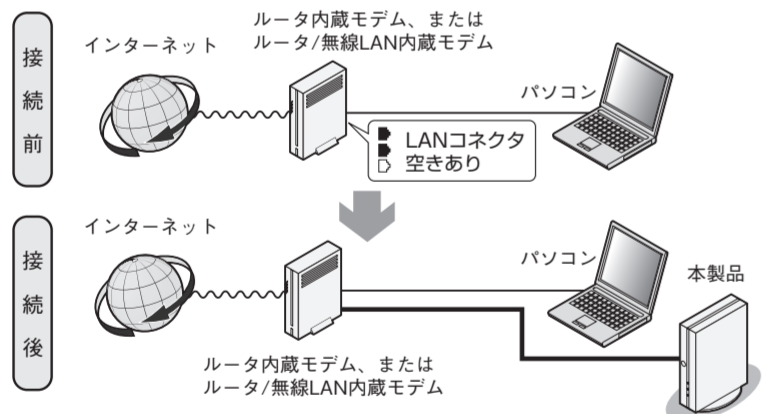
- 3 本体の上下を元に戻し、背面にある「リカバリスイッチ」が「通常」の位置にあることを確認します。

接続パターンを確認し、接続する

メディアタンクの接続方法は、インターネットへの接続パターンによって異なります。次の A、B どちらのパターンに該当するかを確認し、接続を行ってください。どちらのパターンにも該当しない場合は、「取扱説明書」をご覧ください。

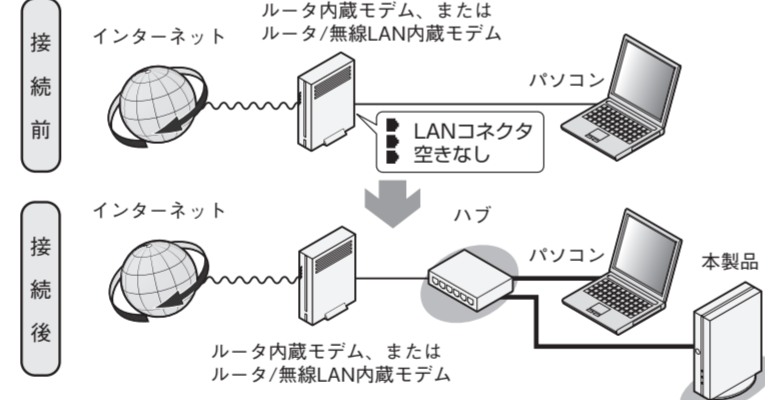
A モデムに本製品を接続するパターン

モデムにルータ機能、またはルータ機能/無線 LAN 機能が内蔵されており、モデムの LAN コネクタに空きがあるので、そこに本製品を接続する。

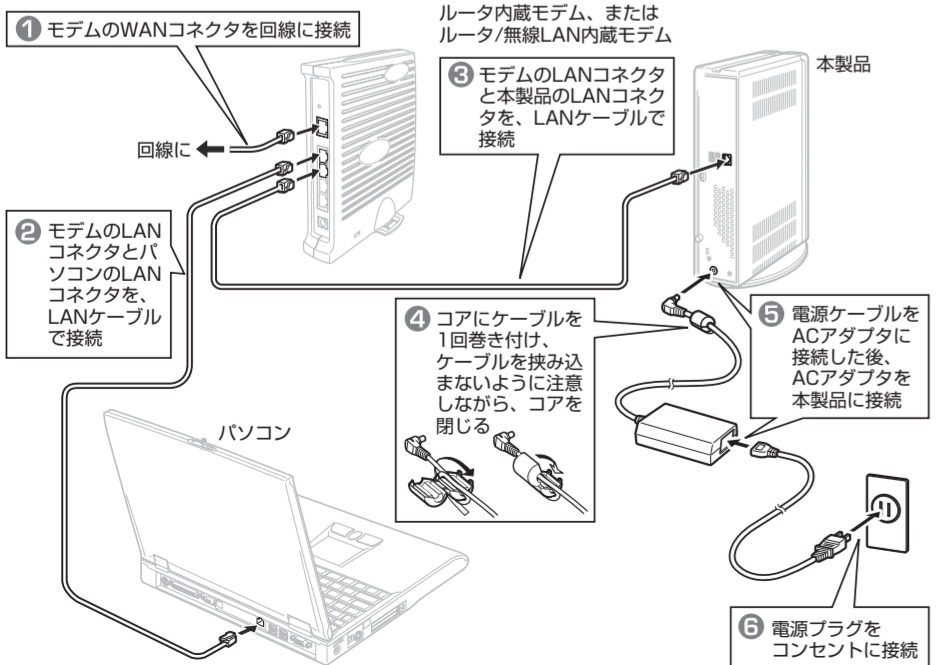


B ハブに本製品を接続するパターン

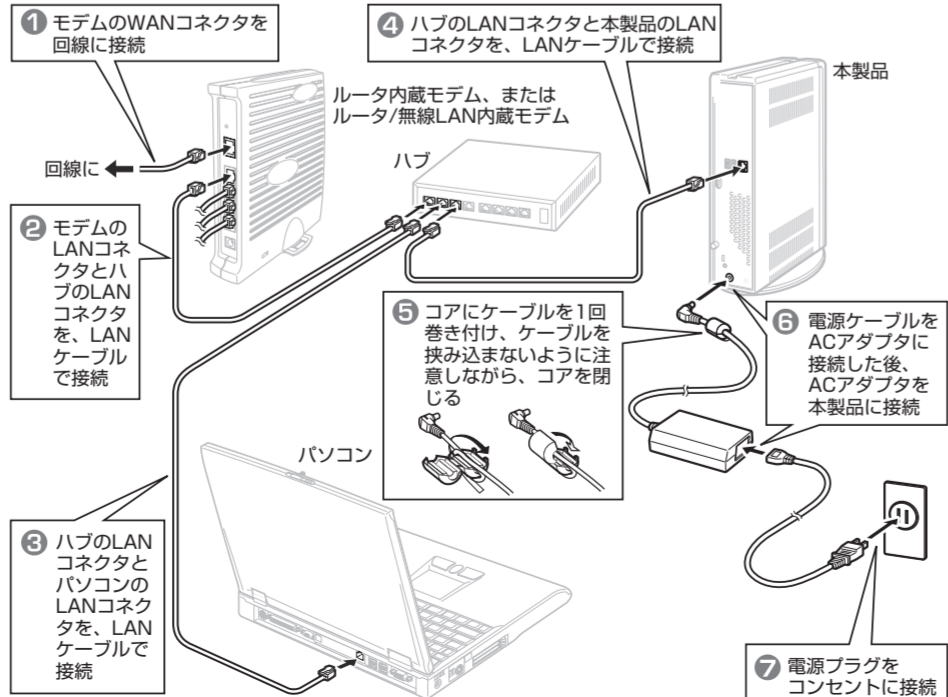
モデムにルータ機能、またはルータ機能/無線 LAN 機能が内蔵されているが、モデムの LAN コネクタがすでに埋まっていたり、ハブ機能を内蔵していなかったりする。そのため、新たにハブを追加し、追加したハブに本製品を接続する。



接続方法：次の順番で本製品を接続してください。



接続方法：次の順番で本製品を接続してください。



メディアタンクをセットアップし、メニューを開いてみる

1 「メディアタンクかんたん初期設定」を実行する

次の手順で、メディアタンクと接続したパソコンにソフトウェアをセットアップしてください。より詳しい説明は、「取扱説明書」をご覧ください。
なお、TCP/IP の設定が「IP アドレスを自動的に取得する」設定になっているか、また「システムのプロパティ」画面で「ワークグループ」が「WORKGROUP」になっているか、事前にご確認ください（通常、パソコンのご購入時は上記設定になっています）。確認方法は、「取扱説明書」をご覧ください。

- 1 メディアタンク前面の電源ボタン (Ⓢ) を押して、メディアタンクを起動します。

前面の STATUS ランプがオレンジ色に点灯し、しばらくすると緑色に変わります。

- 2 パソコンを起動し、添付の「かんたんセットアップ CD」を CD-ROM ドライブにセットします。

セットアップ中のパソコンにインストールされている「DigitalTVbox」「マイリカバリ」「Media Stage」のバージョンによっては、アップデートを適用する旨のメッセージが表示されます。メッセージが表示された場合は、画面の指示に従いアップデートを行ってください。しばらくすると、「メディアタンクを探しています。」と表示されます（表示されない場合は、「エクスプローラ」で CD-ROM を開き、 (Setup.exe) をクリックしてください）。メディアタンクがネットワーク上に見つかると、「新しいメディアタンクが見つかりました」と表示されます。

- 3 画面に表示されている「保証開始日」を、お手元の保証書に書き写します。



保証書に保証開始日が記入されていないと、保証期間内であっても有償での修理となります。

なお、保証開始日は「メディアタンクかんたん初期設定」時だけでなく、メディアタンクのメニューの「機器管理」画面から確認することもできます。「機器管理」画面の開き方は、「取扱説明書」をご覧ください。

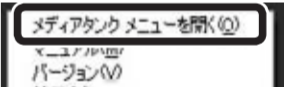
2 メディアタンクのメニューを開く

本製品の操作は、パソコンからメディアタンクのメニューを開いて行います。

画面右下の通知領域にあるアイコン () をクリックすると、メディアタンクのメニュー画面が表示されます。



アイコンを右クリックして表示されるメニューから、「メディアタンクメニューを開く」をクリックしても開くことができます。



3 メニュー画面の構成

メディアタンクのメニューには、次の機能があります。より詳しい説明は、「取扱説明書」をご覧ください。

●「データのバックアップ」タブ

データのバックアップ、復元に関する設定/操作を行います。
本紙裏面で、基本的な使い方を説明しています。

●「マイリカバリ」タブ

パソコンの C ドライブの環境を、メディアタンクに保存することができます。万一、リカバリが必要になった場合も、簡単にディスクイメージ作成時の環境を復元できます。本紙裏面で、基本的な使い方を説明しています。

●「録画番組移動」タブ

テレビ番組の録画データを、パソコンからメディアタンクへと移動させるための設定/操作を行います。本紙裏面で、概念を説明しています。

●情報欄

本製品のハードディスク使用量、エラーの状況、自動バックアップや録画番組自動移動の処理状況などが表示されます。
・「詳細情報を見る」ボタン
ハードディスク使用量などの詳しい情報を参照できます。
・「一時停止」ボタン
自動バックアップや録画番組自動移動の処理を一時停止できます。

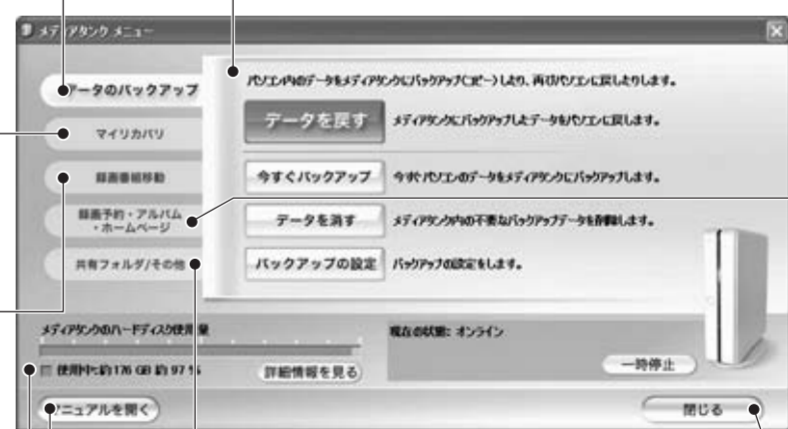
●「マニュアルを開く」ボタン

「画面で見るマニュアル」を開きます。
本製品の全情報をご覧になれます。

各機能について、さらに詳しい情報を知りたい場合は、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。

●操作欄

各機能がタブで分類されています。
タブを切り替えて、目的の機能を使用することができます。



●「共有フォルダ/その他」タブ

- ・プリンタサーバ
メディアタンクにUSBプリンタを接続すれば、ネットワーク内のどのパソコンからも印刷ができます。
- ・ファイル共有
メディアタンク内の共有フォルダにファイルを保存すれば、ネットワーク内のどのパソコンからもファイルを利用できます。
- ・Webフォルダ
外出先からWebブラウザを使って共有フォルダにアクセスし、ファイルをアップロードしたり、ダウンロードしたりできます。

●「録画予約・アルバム・ホームページ」タブ

- ・外から録画予約
携帯電話を使って、外出先から自宅のパソコンに録画予約を入れることができます。
※2004年冬モデル以降のFMV-DESKPOWER/BIBLOシリーズで、「TVfunSTUDIO」がインストールされている場合、または2005年夏モデル以降の「DigitalTVbox」がインストールされている場合(ただし、2005年夏～2006年春モデルの「DigitalTVbox」については、「メディアタンクかんたん初期設定」時にアップデートが必要)
- ・アルバム(携帯アルバム)
写真をメディアタンクの共有フォルダに保存するだけで、アルバム化されます。また、携帯電話で撮影した写真データをメール送信するだけで、アルバム化されます。そのため、携帯電話のメモリを気にすることなく、撮影ができます。
- ・ホームページかんたん作成
携帯電話からメール送信するだけで、ブログ風のホームページを作成できます。携帯電話で撮影した写真も掲載できるため、旅行先で写真つきの旅日記をつけることもできます。
- ・ホームページ公開
メディアタンクの共有フォルダにHTMLを保存すると、ホームページを公開できます。プロバイダのホームページ開設サービスではデータ容量が少なくて物足りないという不満も、メディアタンクなら大容量のハードディスク(約400GB)を活かしてどんどん公開できます。
- 「閉じる」ボタン
メディアタンクのメニューを閉じます。

メディアタンクを使ってみる

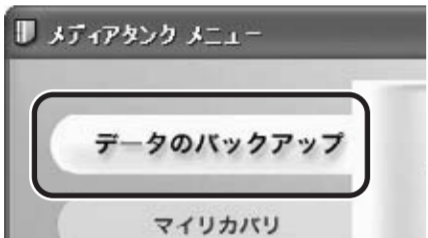
パソコン内のデータをバックアップする／復元する

パソコン内のデータをメディアタンク内にバックアップしておけば、パソコンのデータを誤って消してしまったときに、データを復元できます。FMV-DESKPOWER/BIBLOシリーズにインストールされている「FMかんたんバックアップ」に登録されているアプリケーションであれば、データが追加されたり変更されたりするたびに自動的にバックアップされます。本紙では、バックアップ対象にしたいアプリケーションを追加する方法と、誤って消してしまったデータを復元する方法を説明します。他の機能については「取扱説明書」をご覧ください。

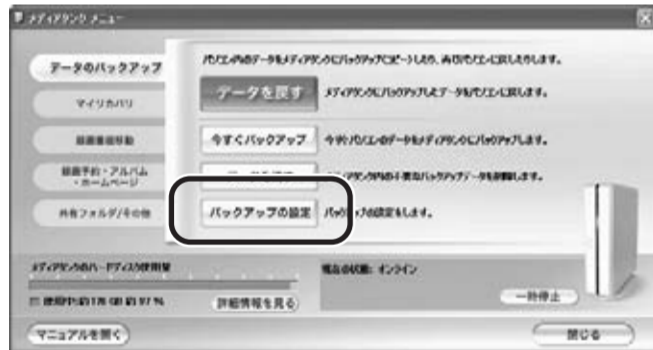
▶ 後からインストールしたアプリケーションのデータをバックアップしたいとき

「FMかんたんバックアップ」に登録されているアプリケーションはあらかじめバックアップ用のフォルダが用意されていますが、後からインストールしたアプリケーションをバックアップ対象にしたい場合は、次の手順でバックアップ用のフォルダを追加します。

- 1 メディアタンクのメニュー画面で「データのバックアップ」タブをクリックします。



- 2 「バックアップの設定」をクリックします。



- 3 「バックアップの対象となるフォルダの追加」をクリックします。



- 4 追加したいアプリケーションのデータが保存されるフォルダを選択して、「OK」をクリックします。



「バックアップ設定」画面に戻りますので、「OK」をクリックします。以上で設定は終了です。

▶ 消してしまったデータを元に戻したいとき

パソコン内の大切なデータを誤って消してしまったときなどに、バックアップしておいたデータでパソコンに復元することができます。

- 1 メディアタンクのメニュー画面で「データのバックアップ」タブをクリックします。



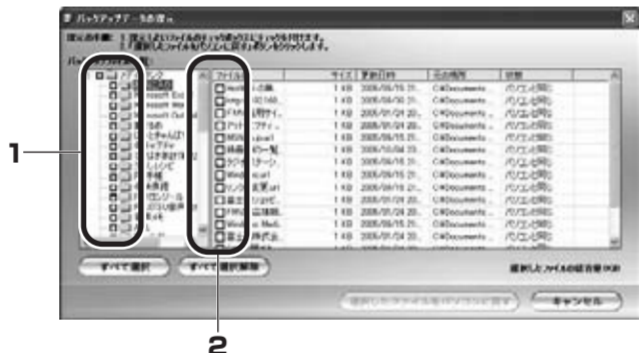
- 2 「データを戻す」をクリックします。



- 3 「個別にファイルを選択して戻す」をクリックします。



- 4 パソコンに戻したいファイルを選択します。



1. パソコンに戻したいアプリケーションまたはフォルダの ☐ をクリックして、☒ にします。
2. 戻したいファイルの ☐ をクリックして、☒ にします。

- 5 「選択したファイルをパソコンに戻す」をクリックします。



「バックアップデータをパソコンに戻しています。」と表示され、しばらくすると「バックアップデータの復元完了」画面が表示されます。

- 6 「OK」をクリックします。

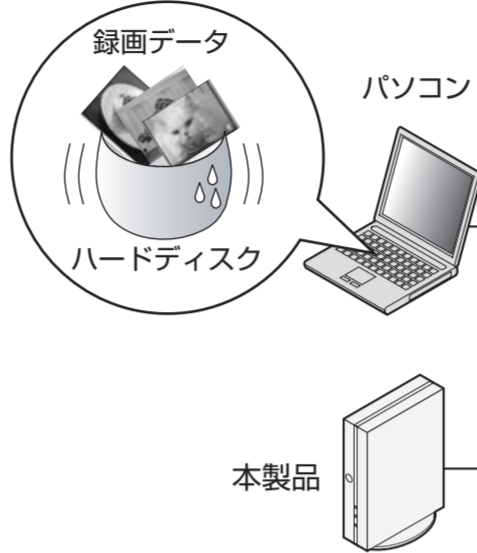


以上で復元は終了です。

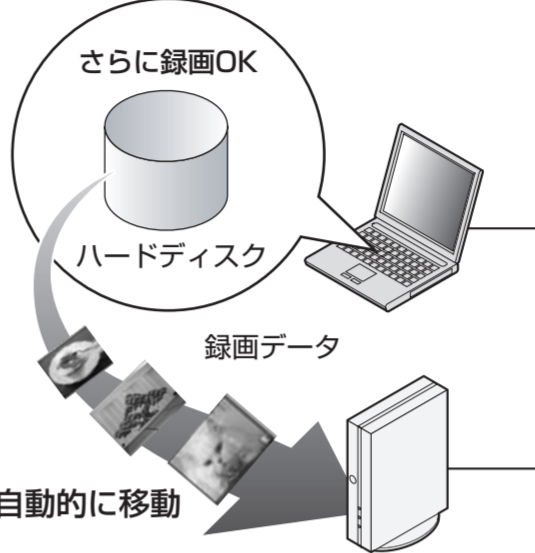
パソコン内の録画データをメディアタンクへ移動する

パソコン内の録画データが増えて、ハードディスクの空き容量が少なくなった場合に、録画データを自動的にメディアタンクへと移動させることができます。そのため、パソコンのハードディスク残量を気にすることなく、テレビ番組の録画ができます。

■ パソコンのハードディスク残量が基準値を切ったら...



■ 録画データを本製品に自動的に移動



※：メディアタンクへ移動できる録画データは、次のアプリケーションで作成されたものが対象です。

- ・2004年冬モデル以降のFMV-DESKPOWER/BIBLOシリーズにインストールされている、「TVfunSTUDIO」
- ・2005年夏モデル以降のFMV-DESKPOWER/BIBLOシリーズにインストールされている、「DigitalTVBox」*1、「インスタントMyMedia」*2

*1：2005年夏～2006年春モデルの場合は、「メディアタンクかんたん初期設定」時にアップデートが必要です。

*2：「インスタントMyMedia」の録画データは、ご購入時の設定では自動移動されません。「取扱説明書」をご覧ください。

上記以外のアプリケーションで作成された録画データは移動できませんので、ご注意ください。

ハードディスク残量の基準値などの設定方法や、メディアタンク内に移動した録画データを再びパソコンに戻す方法については、「取扱説明書」をご覧ください。

▶ メディアタンクに移動された録画データを視聴するには

メディアタンクに移動されたデータをパソコンから視聴するには、次のアプリケーションを使用します。

録画データの種類	パソコンから視聴可能なアプリケーション
「TVfunSTUDIO」の録画データ	・「TVfunSTUDIO」（2006年春モデル以降のFMV-DESKPOWER/BIBLOシリーズに搭載されているもの） ・「MyMedia」（詳細は次項「メディアタンク内の録画データを「MyMedia」で楽しむ」をご覧ください）
「DigitalTVbox」の録画データ	・「DigitalTVbox」（2005年夏モデル以降のFMV-DESKPOWER/BIBLOシリーズに搭載されているもの。ただし、2005年夏～2006年春モデルの場合は、「メディアタンクかんたん初期設定」時にアップデートが必要です。）
「インスタントMyMedia」の録画データ	・「MyMedia」（詳細は次項「メディアタンク内の録画データを「MyMedia」で楽しむ」をご覧ください）

詳しくは、「取扱説明書」をご覧ください。

メディアタンク内の録画データを「MyMedia」で楽しむ

メディアタンクに移動した録画データ（「TVfunSTUDIO」「インスタントMyMedia」で録画されたもの）は、「MyMedia」で視聴できます。「MyMedia」がインストールされていれば、家庭内のどのパソコンからでも録画番組を楽しめます。

※：メディアタンク内の録画データを視聴できる「MyMedia」は、2004年冬モデル以降のFMV-DESKPOWER/BIBLOシリーズにインストールされているバージョン2.0以降です。

▶ 「MyMedia」の起動方法と使い方

「MyMedia」は次のいずれかの方法で起動できます。

- ・リモコンが添付されている機種では、リモコンの「MyMedia」ボタンを押します。
- ・「@メニュー」を起動し、次の順にクリックします。上部の「名前でさがす」をクリック→「画像・映像・写真」をクリック→「MyMedia」をクリック

起動後、「ビデオ」→「全てのビデオ」の順に選択すると、メディアタンクとパソコン内のコンテンツの一覧が表示されます。

「MyMedia」の操作方法については、「MyMedia」のマニュアルを参照してください。マニュアルは、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「MyMedia」→「MyMedia マニュアル」の順にクリックすると表示されます。

パソコンのCドライブをバックアップする

「マイリカバリ」機能を使うことで、パソコンのCドライブの環境（ディスクイメージ）をメディアタンクにバックアップしておくことができます。万一パソコンにトラブルが生じた場合でも、簡単にディスクイメージ作成時の環境に復元することができます。本紙では、ディスクイメージの作成方法を説明します。作成したディスクイメージでリカバリを行う方法は、「取扱説明書」をご覧ください。

※：本製品の「マイリカバリ」機能を利用できるパソコンは、2006年春モデル以降のFMV-DESKPOWER/BIBLOシリーズです。

- 1 メディアタンクのメニュー画面で「マイリカバリ」タブをクリックします。



- 2 「つくる」をクリックします。



- 3 作成するディスクイメージに付けるコメントを確認、修正し、「次へ」をクリックします。



- 4 「OK」をクリックします。

しばらくすると、パソコンが再起動し使用許諾が表示されます。

- 5 使用許諾の内容に同意していただいた場合は、「同意します」をクリックします。

- 6 「次へ」をクリックします。



- 7 「実行」をクリックします。

ディスクイメージの作成が始まります。しばらくお待ちください。作成が終わると、「イメージファイルを作成しました」と表示されます。

- 8 「完了」をクリックします。

Windowsが再起動します。再起動後、作成されたディスクイメージが本製品に移動されます（時間がかかる場合があります）。移動が完了すると確認画面が表示されますので、「OK」をクリックしてください。